

宮古市田老地区の防潮堤保全草刈りボランティアに杉安副センター長 及び学生団体 FROM が参加しました。

2025 年 6 月 15 日 開催

キーワード：地域防災、防災教育、地域連携

開催場所：田老旧防潮堤（岩手県宮古市）

2025年6月15日（日）に、岩手県宮古市田老地区において、NPO法人「津波太郎」主催の「破壊された巨大防潮堤保全草刈り」が行われ、防災復興支援センター 副センター長 杉安和也（総合政策学部）及び学生団体FROMのメンバーが参加しました。

この取り組みは、東日本大震災により破壊された巨大防潮堤の遺構を安全に見学できるようにすることを目的として、夏季に雑草によって視界が遮られる前に行われるものです。明治三陸津波（1896年6月15日）発災日の6月15日に合わせて草刈り整備が行われ、津波の破壊力と明治三陸津波の歴史を伝えるとともに、津波防災・減災への意識を高めることを目指しています。

地域住民の方々と協力し、鎌や草刈り機を使って、約2時間かけて堤防周辺に繁殖した雑草の除去作業を行いました。FROMのメンバーは、震災遺構の整備と維持管理は震災の記憶を風化させないために重要な取り組みであることを改めて認識し、遺構を当時のままに保存する難しさを実感したとの感想がありました。

岩手県立大学防災復興支援センターは、今後も地域の方々と連携しながら、震災の伝承活動等に積極的に取り組んでまいります。

■概要：

- (1) 日時 2025 年 6 月 15 日 9：30～11：45
- (2) 場所 岩手県宮古市田老地区
- (3) 対象 宮古市田老地区の住民の皆さん
- (4) 参加者数 25 人程度（合計）



写真 1・2 宮古市田老巨大防潮堤保全草刈りの様子